令和4年度 関東総合通信局 地域情報化アドバイザー会議 支援成果の紹介

システム導入とBPR手法による ハイブリッド型の業務改革



# システム導入とBPR手法によるハイブリッド型の業務改革

#### 2018年度

総務省業務改革モデルプロジェクトに採択 (現状分析)

### 2019年度

地域情報化アドバイザー制度を活用

**2020年度**(新庁舎OPEN)

書かない窓口を導入(証明・異動)

#### 2021年度

コンビニ交付サービス開始 オンラインスマートフォン申請開始 キャッシュレス決済開始

### 2022年度

書かないワンストップ窓口開始(口 座振替)

### 総務省地域情報化アドバイザー優良事業事例

#### 優良事業事例団体

団体名:深谷市

■人口:142,977人(令和2年9月1日現在)

■面積 :138.37平方キロメートル

■主な産業 :農業

■地域情報化アドバイザー名:村上文洋氏 ■派遣対応年度:令和元年度

■派遣回数:2回

■支援形態:個別アドバイス

■支援分野:デジタル手続き/窓口改革



深谷ねぎとイメージキャラク ター「ふっかちゃん」

#### 優良事業概要

- ■事 業 名:「書かない窓口」導入事業
- ■事業の概要:2020年7月新庁舎OPENに合わせ、申請書を書かない「書かない窓口」をスタートさせ、市民にも職員にも優しい窓口を開設する。
- 2018年 総務省業務改革モデルプロジェクトで「セルフサービス化による窓口業務改革事業」を実施・OCRや顔認証を活用した申請手続きのデジタル化、セルフ化により市民の利便性が向上するこ
  - とを確認(実証実験)
- 2019年 窓口自動化ワーキンググループを組織し窓口業務改善を検討
- ・「書かない窓口」「オンラインスマートフォン申請」「コンピニ交付サービス」の3本柱で窓口自動化を検討
- ・3本柱の内「書かない窓口」を先行して導入する方針を立て、窓口自動化の実現に向けて、受付業務を入口から出口までデジタルで行うためのデータの受け皿となるシステムを導入する。
- ■依頼内容:「書かない窓口」実現に向けた窓口業務支援システムのプロポーザル審査に関するアドバイスを依頼

# 2020年~書かない窓口

対象業務:証明発行(住民票、戸籍等謄(抄)本、印鑑登録証明、課税証明等) 届出関係(住民異動届(転入・転出・転居・世帯変更)、印鑑登録)



## 2020年~書かない窓口

申請・届出作成

受付:本人確認、內容確認

入力

交 付

旧











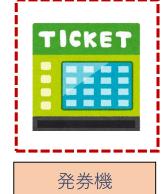
① 記載台・フロアアドバイザーの廃止

②ガイダンス機能によりヒアリングを行い、 申請情報をデータ化し、申請書・届書を 作成。

# 手続きに係る人数4人から2人に!

4 基幹系システムへのデータ移行を 自動化により省力化

新







受付:本人確認、申請・届出書作成







自動入力

查

交 付

# 2022年~書かないワンストップ窓口(口座振替)

インセンティブPR



地域通貨ネギー活用

Pay-easy口座振替受付 サービス



モバイル決済端末

#### 窓口で申請書を書かない、「書かない窓口」



窓口業務支援システム

キャッシュカードで申請書を書かずに、市役所窓口で口座振替受付を開始!

インセンティブPR

+

Pay-easy口座振替受付サービス (金融機関で必要な情報の入手)

+

窓口業務支援システム(市で必要な情報の入手)

\_

口座振替のキッカケを作り、 手続きの煩わしさを解消し、 市民が窓口に来る機会を減らす!

- ・口座振替キャンペーンを実施!
- ・1カ月で1000件受付
- ・受付データはRPAで半自動で入力

# 2022年~書かないワンストップ窓口(口座振替)

対象業務:口座振替依頼/取消、自動払込利用/廃止

(市民税、軽自動車税、固定資産税、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料、保育料、市営住宅使用料、 上下水道料金)



#### 2022年~書かないワンストップ窓口 (口座振替)

依頼書作成·押印

受付:本人確認、内容確認

金融機関登録

市役所登録

口座振替開始















1月





金融機関の窓口のみ で受付

キャッシュカード読み取りと サインだけで申込完了

市役所窓口でも 受付可能に!

キャッシュカードから口座情報を取得 金融機関自動登録(翌営業日)

モバイル決済端末読込データを入手(翌営業日) 基幹システムへRPAで半自動入力





















受付:本人確認、依頼書作成

モバイル決済端末

半自動入力

市役所登録

口座振替開始

# DXとは業務を考え改善し続けること

そしてユーザとは、 お客様だけでなく、自治体の<mark>職員</mark>も含まれる